



アユ情報

第3号

平成29年4月5日
栃木県水産試験場

1. アユ^そ遡上情報

アユの遡上状況についてお知らせします。

那珂川の状況 (4/4 現在)



- ・茂木地区で、先週に引き続き遡上を確認しました(4/4)。
- ・那須烏山市の境頭首工で1尾の天然遡上アユを採捕しました。全長は101mmでした(4/4)。



採捕された天然遡上アユ (左：茂木地区、右：境頭首工)

<茂木地区での定期調査結果>

平成29年				平成28年			
日付	水温	*採捕尾数	平均全長(mm)	日付	水温	*採捕尾数	平均全長(mm)
3月22日	13.0	1.5	93.3	4月1日	15.0	12.4	94.5
3月29日	13.5	1.5	97.3	4月8日	15.1	9.0	94.0
4月4日	15.0	9.6	86.0	4月15日	17.0	12.7	94.0
				4月22日	18.0	29.0	85.0
				5月2日	18.0	13.0	99.0
				5月11日	18.0	17.0	79.0
				5月18日	欠測	91.0	91.0
				5月24日	22.5	38.0	120.0

*投網1人1時間あたりに換算した採捕尾数

近県の状況 (4/4 現在)

- ・茨城県内の久慈川では 3/21 に堅磐堰（河口から約 8km）で遡上が確認されています

茨城県水産試験場内水面支場

H29 年久慈川・那珂川アユ遡上速報第 2 号

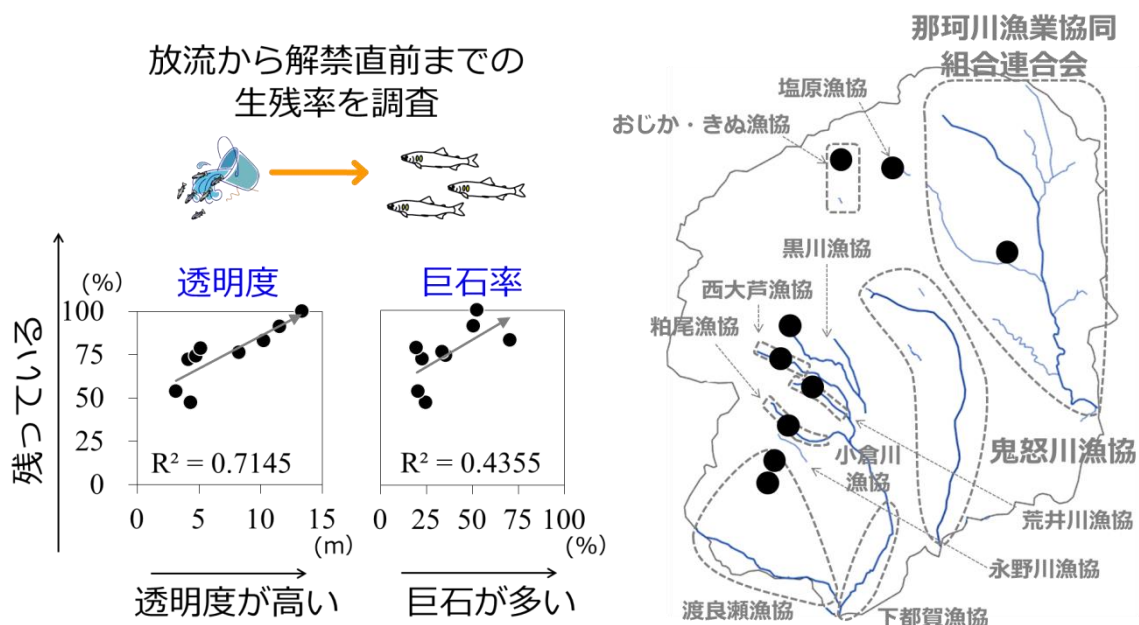
- ・多摩川のカス橋付近では、3/17 から遡上が確認されています。

→4/3 までの累計遡上数：3,324 尾（H28 年同時期：777 尾）

東京都島しょ農林総合研究センター 平成 29 年アユ遡上調査

豆知識～河川環境とアユの生残率～

放流効果（放流量に対する漁獲量）が高かった時代、アユ漁の解禁日まで生き残るアユの割合は、30～90%の範囲内で通常 50%以上とされていました。では、近年のアユ漁場では何割ぐらいのアユが解禁日まで生き残っているのでしょうか？



そこで、2015 年から 2016 年にかけて県内の 9 河川（図の黒丸）で調査してみました。その結果、解禁直前までの生残率は平均 76%と非常に高い値でした。一方で、放流から調査日までの日数に関係なく、透明度の高い河川ほど、巨石（長径 25cm 以上）が多い河川ほど生残率が高いという傾向がありました。また、環境の悪い場所に放流されたアユは、自ら環境の良い場所に移動するのではないかと期待していましたが、そのような状況は見られませんでした。

したがって、できるだけ透明度が高く巨石が多い漁場へ放流すると放流効果を高められると考えられます。

連絡先 栃木県水産試験場

電話 0287-98-2888 FAX 0287-98-2885

ホームページ <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g65/>

facebook はじめました→<https://www.facebook.com/tochigisuishi/>